

コラム

みやちゃん と一緒に体験記

Vol.49

緊急避妊薬は女にとって最大の人生会議！

薬剤師として様々な活動を展開する中でも、特に女性の健康支援を促進する薬剤師の宮原富士子さん（みやちゃん）が、近年注力してきたのが緊急避妊薬（アフターピル）の普及。医師の処方箋なしでも市販薬として、必要な人が必要な時に購入できる仕組みが急がれていましたが、反対意見が多くなかなか成就できないでいました。

私の記憶に間違いがなければ、みやちゃんは、2020年開催予定だった東京オリンピックに照準をあてて2019年7月頃、緊急避妊薬11ヶ国語指導キットを作成していました。

あれから4年余の歳月が流れ、諦めずに活動をし続けた結果、遂に2023年11月28日、医師の処方箋なしでの試験販売ができるまでになりました。みやちゃんは実現までの日々の記録をFBやブログで発信し続けてきました。今回は、この薬をめぐる最近の動きに関する記録（一部）をご紹介します。

*****023-11-20 宮原富士子FB投稿記事*****

【世の中混沌としている】

興味関心の薄い男性が緊急避妊薬をまた違うもののように扱えると思って安易に対応しようとしている気配があり、敏感に感じている女性が大丈夫かという。どちらも今の社会の趨勢を表している。

本当に必要な場合には色々繋がれば必ず手に入る。自分を助けてくれる人を見つけられるか、あるいは日頃からコネクションを持っているか。自分を助けてくれる人を3人もってよう。必ず助けられるから。それが大事だと思います。緊急避妊薬も同じ、どこで買うかではなく誰とつながって入手できるかなのです。

***** 2023-12-6 宮原富士子FB投稿記事 *****

担当する薬剤師が販売以外にも地域の社会資源につなげるコンシェルジュ的な役割、お話を聴いて対話をする時間の提供、いろんなことができるんじゃないかという可能性をもって臨んでいます。そのままクリニック紹介繋ぎもあり、処方してくるもあり、オンライン診療もあり、その場での販売もあり、多様にひろがりがあるのは一つのブレイクスルーのきっかけになるのでは。たとえ研究による販売が終了しても次の制度改革までのつなげる場所として存在することは確か。

***** 2023-12-9 宮原富士子FB投稿記事 *****

【地域と薬局のおもしろさ体感@緊急避妊薬】

昨夜は”さくま”で賄いご飯をいただいた。時折 愛子さんと他愛無い対話を楽しみながらWEB講座のお疲れ1人癒しを目的に賄いご飯をいただくのだが、そこに集う常連たちとの何気ない対話もおもしろい。

色んな人がいるからおもしろい。昨日の話題は “緊急避妊薬”。

あれってなんなの？ へええ？

これはどうゆうこと みたいな会話やら今の若い人たちはとか、俺たちの時代はとか、話しがつきない。

普段話せないこういう話題が店中に響き渡るのも今回のことがあってこそなんだろうと。在宅医療の訪問先でも次男坊が大学生なんだけど教えておいたほうがいかなとか、今の子ってどんな性教育うけているんだろうとか訪問看護ステーションの看護師からTVみたけどみやちゃんのところにあるのとか、そういう

仕事もしてたんだとか、花柳界の人たちからも知っておく必要あるよねえとか。全く縁がないであろう高齢の居酒屋客でも昔話や今の時代の話に花が咲く。なんか緊急避妊薬という言葉が1滴ふつうにいやらしくなく地域におちてくることで、こんなにみんなの意識が広がるんだあと全く感心の私なのです。

地域はだから面白いのだと。

みやちゃんのところに駆け込めば助かる人多いよね、

私たちが俺たちも助けるからねえ、性暴力被害の多い時代、何が暴力なのかわからずしてしまうこともあるかもしれない。逃げる道の入り口があることが地域に広まるといいと思う。

来週は包括の地域まもりネットワークで今回の緊急避妊薬対応の資料が配布されます。そこには警察や消防署や民生委員ほかたくさん地域のセーフティネットワークがあります。いいきっかけになっています。なんだかうれしい毎日です。

<http://www.vividlady.com/kei/>

【緊急避妊薬 性の営みへの尊厳 人生会議というキーワード】

この言葉が、世の中にどんなことを、インパクトをもって考えさせるのかが重要であります。

パンドラの箱を開けるようなこともあるのだらうと思います。高校生までの不十分な性教育 一体性教育とは何をさすものなのか。人間にしかない営みに関する対話とセルフメディケーション。人間の性の営みも避妊も性病予防もセルフメディケーションの一環であり、教養であり、尊厳であるでしょう。そこだけは教えないと考える人の教養の低さを露見する日本において、こっぴどく緊急避妊薬という言葉がメディアでおどれば、知らぬ人でもアクセスができるんだらうと。その後がまた一つ課題で、そこでかかり婦人科に行きつけるルートをつたった一本の電話でつなげられるかは真剣勝負。それでもたどり着けずにとりあえず面談する人たちにはもう一度そのことを伝え、短時間でも性に関する権利・尊厳・人としての営みの大事さ、そして妊娠の仕組みからもしもの時の選択まで。語ることは、話し合うことは大事だと。

これはまさに人生会議なんだらうと。女の人生会議は、すでに10代から始まっていると。そこに真剣に向き合える場所があり人がいる。大事だと思います

~~~~~

みやちゃんは、常に自分を助けてくれる友人知人を近くに3人は持つことが大事と繰り返し声を大にして発信していますが、私もその通りだと思います。様々なITツールがあり情報が氾濫しているにもかかわらず、大事な情報にたどり着いているかどうか……。

たいていのことは、人との真摯な繋がりがあれば、身寄りがなくても親戚と疎遠になっただけでもうまくやっていると考えています。

望まない妊娠で苦しむ女性が増えることがないように、地道な努力を続けてこられたみやちゃんと仲間たちに、心から感謝の言葉を贈りたいです。

ただ、薬（クスリ）は万能ではなく、逆からよむと「リスク」となることを忘れてはなりません。緊急避妊ピルの普及の妨げとなったのは、この点が大きく左右したことは言うまでもありません。緊急避妊ピルが、必要な人に、必要な時に、適切に届くように、薬のプロである薬剤師さんたちは、日々研修などで学びを続けています。あなたの人生会議のかじ取りは、あなた自身です！